

平成29年 1月 1日発行



社協だより

第101号

■天王センター

TEL (018) 878-6538
FAX (018) 878-7127

■昭和センター (ボランティアセンター)

TEL (018) 877-5017
FAX (018) 877-4108

■飯田川センター

TEL (018) 877-2627
FAX (018) 854-8251
有線 3028



△ 新関座談会 (昭和地域)



△ 児玉座談会 (天王地域)



謹んで新春のお慶びを 申し上げます



潟上市社会福祉協議会は、新たな福祉課題に対応しつつ、子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らすことができる「共に支え合う地域づくり」に向かって、市民の皆さまとともに歩み続けます。

△ 妹川浜座談会 (飯田川地域)

平成28年度 社会福祉功労被表彰者

《敬称略並びに順不同》

《社会福祉功労》

◆理事・評議員

（故）薩摩 繁（天王・上北野）

◆退任民生児童委員

天野瑠美子（秋田市「旧天王神明町」）

◆永年勤続

南都 洋子（昭和・船橋）

《地域福祉功労》

一ノ関利雄（飯田川・飯塚上）

《在宅福祉功労》

伊藤 倫子（天王・江川）

鈴木 有子（昭和・荒長根）

藤原 幸子（昭和・新築）

千種サキ子（飯田川・駅前）



「ふくしの作文コンクール」受賞者

応募総数275編【最優秀賞2編、優秀賞23編】

◆最優秀賞

小学生部門

「体の不自由な生活と命の大切さ」
天王小学校 5年 鈴木 彩子さん

中学生部門

「地域のために僕ができること」
天王南中学校 1年 堀井 偉斗さん

◆優秀賞

小学生部門

天王小	6年	浅野	陸さん
天王小	6年	谷	夢さん
東湖小	5年	藤	汰さん
出戸小	4年	山	太さん
出戸小	5年	岡	乃香さん
出戸小	6年	山	基さん
出戸小	6年	井	乃人さん
追分小	5年	石	人さん
大豊小	6年	太	花さん
飯田川小	6年	小	西
		李	空さん

中学生部門

天王中	1年	鎌田	真凛さん
天王中	2年	原	夏姫さん
天王中	2年	浦	永愛さん
天王南中	1年	越前	拓海さん
天王南中	1年	藤原	美花さん
天王南中	1年	下	山花さん
天王南中	1年	五十	嵐子さん
天王南中	1年	門	間彩さん
天王南中	3年	齊	藤真さん
天王南中	3年	佐	藤向日葵さん
羽城中	1年	淡	路希さん
羽城中	2年	鏡	裕子さん
羽城中	3年	小	林芽以さん



△大会表彰

言（案）を理事の工藤紀代子さんが力強く読みあげ、拍手をもって承認されました。福祉作文の発表では、最優秀賞に輝いた天王小学校五年鈴木彩子さんと、天王南中学校一年堀井偉斗さんが、福祉体験を通じて感じたことを朗読し、活動することの喜びが会場いっぱいに広がりました。記念講演では、特定医療法人敬徳会藤原記念病院理事長藤原慶正氏が「あなたが決める潟上市の将来」

社会福祉を支える全員参加のまちづくりと題してまちづくりへの熱い思いを語りかけました。アトラクションでは、最初に追分保育園五歳児たちによる歌や「よっちよれ」を元気いっぱい披露。続いて、追分小学校一年生による童謡・落語劇・詩の群読「ああすばらしきかな にはんご」の発表が行われ、市民のみなさんから大きな拍手が寄せられました。最後に「助け合い、支え合いの大



△三代にわたり医師の道を歩む 藤原慶正氏

切さ」を再確認し、盛会裡に幕を閉じました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



△すばらしいアトラクションに会場から拍手かっさい

平成28年度

第12回

潟上市社会福祉大会

地域の支え合いの大切さを

昨年十一月十二日、第十二回潟上市社会福祉大会が天王総合体育館で会場に開催されました。大会には、地域住民をはじめ福祉

関係者・各関係団体などから約五百名が参加しました。始めに、福祉活動に尽力され亡くなられた方々に黙とうを捧げた後、

長年にわたり地域福祉・社会福祉に貢献された方々にそれぞれ感謝状と表彰状を、そして児童・生徒の「福祉の作文」の表彰が行われました。続いて、石川久悦大会会長が「市民一人ひとりが絆や支え合いの心をもって地域福祉の推進に結集しよう」と、あいさつ。続いて、石川光男市長、伊藤榮悦市議会議長、鈴木雄大県議会議員の三氏からご祝辞をいただきました。最後に、「大会宣

新春にあたって

共に支えあう 地域づくり



潟上市社会福祉協議会

会長 石川 久悦

明けましておめでとうございます。昨年は、全国各地で、想像を絶する地震や豪雨等による災害が多く発生いたしました。また、福祉施設において9名もの生命が失われる痛ましい事件がありました。本市においては飯田川地区で住宅・小屋等15棟が被災する大規模な火災が発生いたしました。幸いにも一人のけが人もありませんでしたが、被災されたご家族の心は察するに余りあるものがあります。本会でも早速にお見舞いに伺いましたが、一日も早く安定した暮らしを取り戻されますよう願っております。

コミュニティ機能の低下等が叫ばれる昨今ですが、このようなときこそ、市民一人ひとりが「絆」や「支え合い」の心をもって行動し、地域福祉の推進に力を結集していくことが何より肝要であります。

一地域の支え合いの体制づくりをどう進めるか

平成29年4月から新たに地域支援事業がスタートします。「地域の支え合いの体制づくり」を目標とするもので、まずは地域の中で何が求められているのか、福祉や健康づくりを進めるために何ができるのか、こうしたニーズの把握や資源の開発に努めていくことで、地域福祉を推進する力としていきます。

一若い世代に繋げる福祉のまちづくりとは

本会では、多種多様な事業に取り組んでいますが、その一環として、市内小・中学校の福祉教育やボランティア活動に対する助成や、スクールボランティアと銘打った講演会等の事業も開催しています。特に車いす体験を通じた「ひとにやさしいまちづくり探検隊」の事業は、児童・生徒の福祉の心の成長に繋がりたいとの思いをもって取り組んでいるところです。

一「福祉活動計画」から見えてくること

社協として初めて策定した「福祉活動計画」ですが、このあと計画に関わる推進委員会を立ち上げる予定です。この活動計画が画餅に帰すことのないよう、着実に歩を進めて参ります。計画の実効性を高めるために、多くの市民の皆さんから、事業に対するご意見・ご提言・ご批判等をお寄せいただければと思っています。

一介護保険事業の展開をどうはかるか

介護予防事業が地域支援事業に移行されることになりました。最近の市民ニーズは、在宅型から施設型へと大きくシフトしていますので、大変難しい局面にあります。地域の中に根付き、住民とともにある社協ならではの、きめ細やかなサービスを展開していくことで、社協として責任ある役目をしっかりと果たし、信頼をより確かなものとし、絆を強めてまいります。

天王小 募金がんばったよ



△ありがとうございました

12月5日、天王小学校の児童による赤い羽根共同募金の寄贈式が行われました。思いやり委員会委員長の鈴木陸久さん(6年生)から社会福祉協議会鈴木司事務局長に、天王小学校17クラス、408名の児童たちからの募金を手渡されました。

思いやり委員会では、5・6年生の委員20名が全校生徒へお便りを作って配布したり、朝登校してくる児童たちへ呼びかけを行ったりと、募金活動をがんばってくれました。

このほかにも、市内各小・中学校の児童・生徒の皆さんからたくさんの募金が寄せられています。ありがとうございました。

安全パトロール

平成28年11月15日に飯田川地区、16日に天王地区、18日に昭和地区で、一人暮らし高齢者世帯等を対象とした「安全パトロール」が実施されました。この日は、社協職員と一緒に、電気工事協同組合、建築労働組合の方々のご協力をいただきながら、ストーブ・火災報知器・電気配線・建具等の点検を実施しました。



△職人さんの誠意

「電気以外の配線なんて、普段見ないもの。危ないところだったのを、修理してもらって助かった」「社協の職員と話してこ出来で良かった」「戸の立てつけ直ぐに直してもらってよかった」とのお声をいただきました。

「第六回 ふくしの作文コンクール」には、潟上市内の小・中学校から合わせて二百七十五点の応募がありました。その中から、小学生の部の最優秀賞には、天王小学校五年生の鈴木彩子さん、中学生の部の最優秀賞には天王南中学校一年の堀井偉斗さんが選ばれました。お二人の作文を紹介します。

小学生の部 最優秀賞

体の不自由な生活と命の大切さ



天王小学校五年生 鈴木 彩子

私は今、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に住んでいます。今は平和にいらしているけれど、もしおじいちゃんとおばあちゃんの体が不自由になったら…。と考えたら不安でたまらなくなりました。

八月十九日、お友達と一緒に、老人ホーム「和幸苑」に行きました。

福祉に関する作文

地域のために僕ができること



天王南中学校一年 堀井 偉斗

行く前は、老人ホームだから元気がない人がたくさんいて、暗い感じの所なのかなと思っていましたが、行ってみたら、おじいさんもおばあさんもとても元気で過ごしていました。和幸苑と一緒にぬりえをしていたおじいさんが「上手だなあ。」「上手くかけてるなあ。」「とほめてくれたので少し自信ができました。ほかにも、みんなの前で習っているバトンの技をいくつかひろうさせてもらったり、おじいさんおばあさんからはげましの言葉ももらったりして、もっと自信ができました。

最近の二コースで、障がいをもった人達が次々に殺害されるという事件がありました。この事件の犯人は、「障がいをもった人達がいなくなればみんな幸せになる」と思い、殺害したそうです。けれど私は、その考えは間違っていていると思います。障がいを持った人達や年をとって体が不自由になった人達にもちゃんと一つの命があるし、私達と同じ人間だからです。こんなひどい事件をおかした犯人には、しっかりと反省し、自分のやったことがどれだけ最低なことかを考えてほしいです。

和幸苑では、たくさん体験をさせていたでいて、本当に感じさせています。私がおじいさんおばあさんに自信をつけに行つたのに、逆に私が自信をつけてもらいました。私のおじいちゃんとおばあちゃんも、ずっと元気でいて、なるべく老人ホームのお世話にならないように私が出る限りのお手伝いをしたいと思いました。このような体験をして改めて命の大切さを教わりました。

私も安心して暮らせる町づくりを目指しています。お父さんと僕の活動は、自分の住む町内一軒一軒を訪問して、福祉活動の説明をしたり、寄付金を集めたりするということです。

僕はこの活動を小学三年生の頃から続けています。幼いころはお父さんの後ろをついて行くだけで何のために町内の方々からお金を集めているのか、集めたお金は誰が使っているのか、本当に集めたお金は、地域のために使われているのか、など寄付金を集める目的も

よく分かりませんでした。しかし、活動を重ねるごとに、お父さんが町内の方に説明している話をきいて、分かることも多くなりました。さらに調べてみると、こうして集めたお金は、一人暮らしのお年寄りの方々が、自分と同じような人たちと交流会を開いて、日ごろの悩みや不安を話して仲を深めるために使われたり、実際にお年寄りの方や障害のある方の家を訪問して、家事や入浴の手つだいなどを行ったりする支援に使われているということが分かりました。

また、毎年町内を回るにつれ募金をしてくれる人が増えてきました。その方々は、必ずほかに「毎年くるうさま、がんばってね。」と励ましの言葉をかけてくださいます。昨年度、潟上市全体で合わせると約九百万円以上の寄付が集まり、その分たくさんの方々の支援活動を行うことができました。

調べてみると、僕たちが集めたお金が子供からお年寄りまで、たくさんの方々が楽しく、安心して生活するために使われているという事が分かり、僕が今までやって

きた事は無駄ではなかったのだ、ととてもうれしく思いました。同時に達成感も感じました。そして、他にも僕にできることはないか考えるようになりました。

僕は、祖母と一緒に暮らしています。今年で八十二歳になる祖母はとても元気ですが、最近体が痛いと言っているのです。時間があるときは祖母と一緒に町内の散歩したりしています。そのなかで気づいたことは、ちょっとした段差や道路の石など、僕にとっては何でもないことが、祖母にとっては大

きな障害になり、転んでけがをしてしまう危険がある、ということ。毎日の生活の中でも、他の人の立場になって考える、不自由なことがたくさんあります。だから、僕ができることは、まだまだあると思います。

地域で暮らす人たちが、支えあい、声を掛け合って、仲良く暮らすことが、地域での生活をよりよいものにしていく活動の出発点なのではないかと気づくことができました。

シルバー人材センター 会員募集

センターでは、あなたからの一報を待っています。

- 対象者** 原則60歳以上
健康で働く意欲と能力のある方
(登録時に傷害保険料1,290円をいただきます。)

◆◆◆ 職員募集 ◆◆◆

潟上市社会福祉協議会では、平成29年度職員を募集します。

	正職員
採用人数	1名
受験資格・要件	・社会福祉士の資格を有する方 ・普通自動車運転免許を有する方 (AT車限定不可)
職務内容	社会福祉協議会が推進する、地域福祉事業全般
採用試験の実施	平成29年1月31日(火) 作文、面接
試験会場	潟上市社会福祉協議会 本所 (潟上市役所飯田川出張所内)
申込手続き	市販の履歴書に必要事項を記載し、写真を貼付したものを、郵送してください。
締め切り	平成29年1月20日(金) 履歴書受付後、採用試験の詳細を文書にてお知らせいたします。
問い合わせ及び履歴書郵送先	潟上市社会福祉協議会 〒018-1502 潟上市飯田川下虻川字八ツ口70 電話 877-2677

除雪対策

今年もシルバーにお任せください

シルバー人材センターでは、今冬も除雪作業に伺います。お早めにセンターに申し込み下さい。雪が積もった場合に直接シルバー会員が伺います。

料金

- 除雪 排雪作業は 一時間あたり、1,134円。
 - 軽トラック借り上げ料 1回 1,080円(消費税含む)
- 詳しい内容については、電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先

- 天王地区(担当:沼田) ☎878-7799
- 昭和・飯田川地区(担当:菅原) ☎874-7165

無料法律相談

- 日程 二月七日(火)
 - 場所 昭和センター
 - 予約 予約が必要です。
 - 時間 十三時三十分〜十五時三十分まで(お一人三十分程度)
 - 人数 四名まで
- ※秋田弁護士会所属弁護士が、法律に関して専門的な相談に応じます。
○お問い合わせは、各センター(表紙)まで

善意

ありがとうございます

12月22日までの受付

- 【香典返し】
- 飯田川(飯塚浜下) 田 仲 涼様
 - 飯田川(羽立二) 小 野 康様
 - 天王(下町) 鎌 田 健 一様
- 【一般寄付】
- 天王(二田) 藤 原 慶 正様

皆様の善意は市民の福祉のため大事に使わせていただきます。

編集後記



新年明けましておめでとうございます。今冬は雪が多い年になると言われていますが、今と昔とでは雪の量がずいぶん違いますね。私が子供の頃は家の中にいることがなく、吹雪いているときこそ楽しめる!という思いで、自分の倍もある除雪あとの雪山に階段を作り、ソリやミニスキーでよく遊んだものです。ぜひ子供たちには外で遊び、たくさんの発見・楽しさを感じてほしいと思います。

今号では、福祉の作文の最優秀作品を紹介しました。ご家族で感想などを話しあっていたら良いでしょう。新しい年も社会福祉協議会へのご理解とご協力をどうかよろしくお願ひ申し上げます。(山平)